

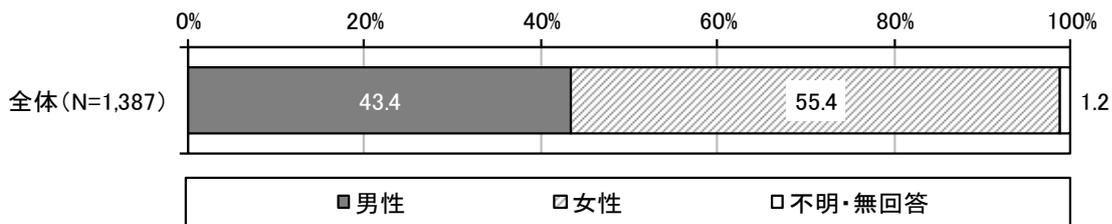
6 その他

(1) めざそう値の現状

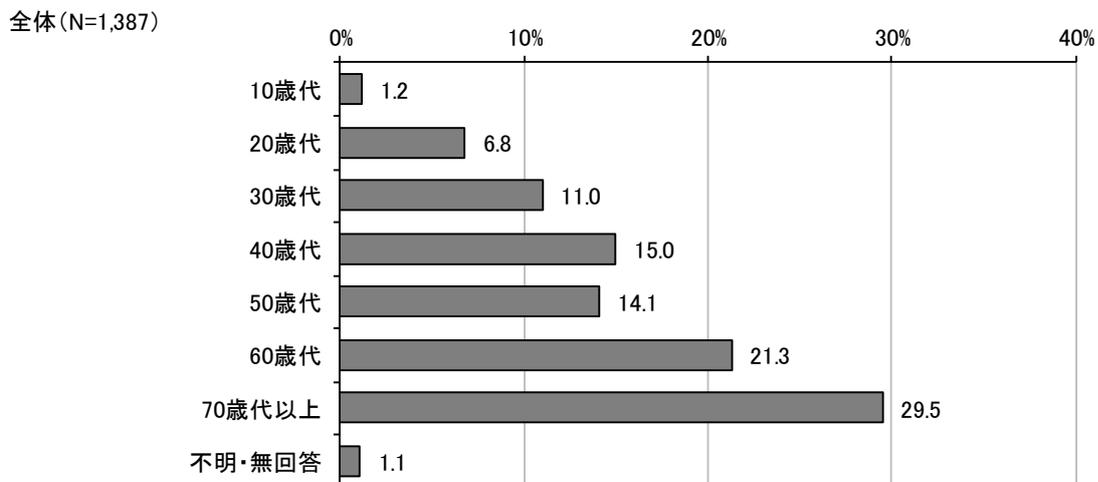
第6次相生市総合計画のめざそう値の現状把握のため、市民に対して本市のまちづくりについての満足度をうかがうアンケート調査を実施しました。

- 調査対象者：相生市に在住する18歳以上の市民
- 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- 調査期間：令和2年6月11日～6月25日
- 調査方法：郵送による配布・回収
- 回収結果：配布数3,000件／有効回収数1,387件／有効回収率46.23%

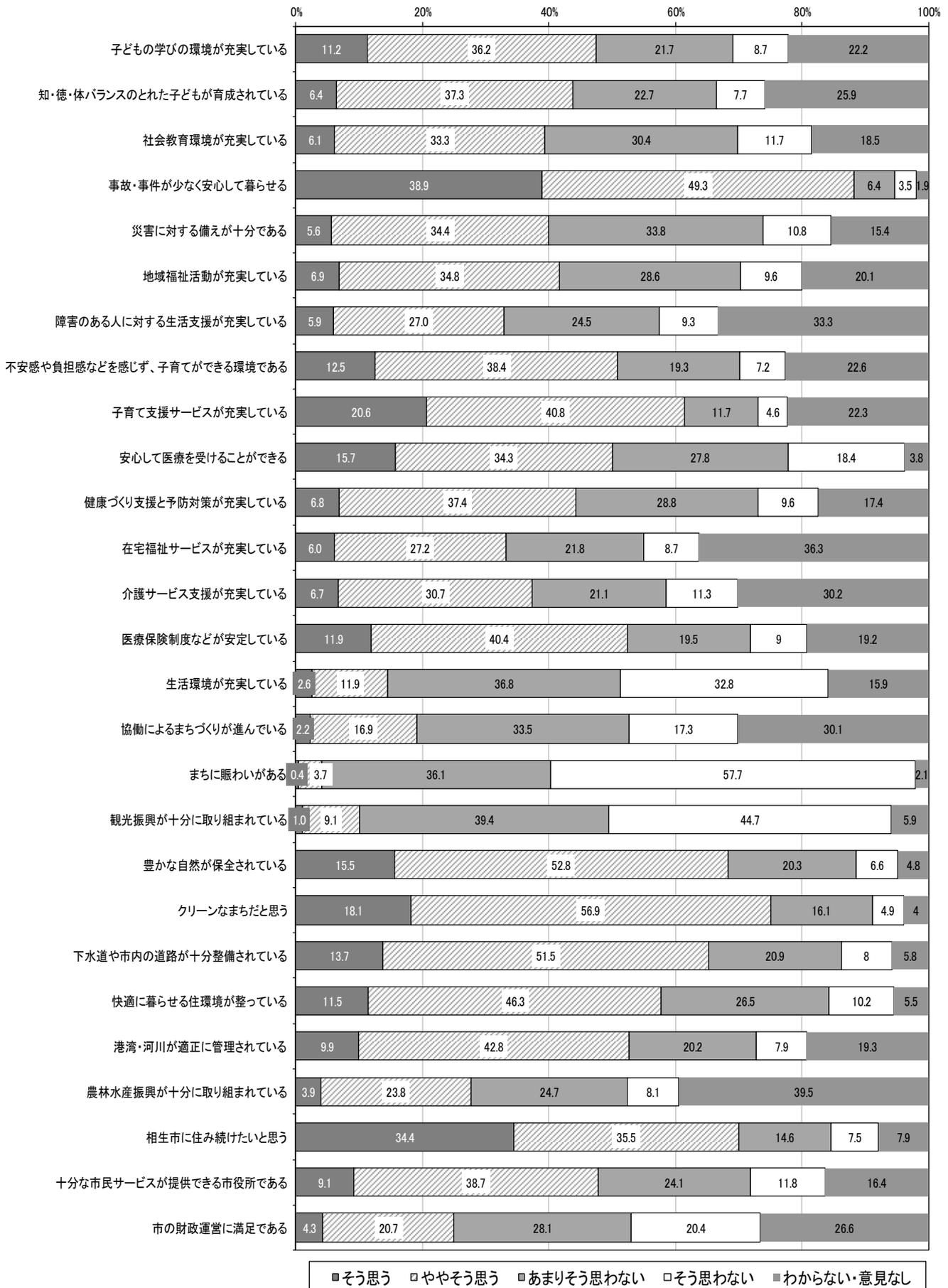
◇性別



◇年齢（令和2年6月1日現在）



◇めざそう値設定項目の市民満足度について



(2) 地域創生総合戦略の目標値の説明

戦略目標			
施策名			
基本目標・KPI（重要業績評価指標）	説明	令和元年度 （基準値）	令和7年度 （目標値）

戦略目標1 子育て応援のまち相生			
合計特殊出生率	各年の合計特殊出生率	1.59	1.6
施策1 パパママ応援			
出生数	その年度における出生数	196人	213人
子育てアプリ登録者数	各年度末現在のAioiいくたびの累計登録者数	227人	546人
施策2 子どもたちの成長応援			
保育所の待機児童数	各年度4月1日現在の市内待機児童数	3人	0人
施策3 地域の子育て応援			
地域の子育て支援拠点利用者数	各年度の子育て学習センター利用者、事業参加者数、相談者の総数	15,837人	20,460人
子育て応援券利用可能事業者数	各年度末現在の子育て応援券利用可能事業者数	36箇所	40箇所

戦略目標2 住みたい、帰りたいまち相生			
社会増減数	各年度の転入者数と転出者数の差	△192人	0人
施策1 相生暮らしサポート			
移住・定住相談件数	各年度の各種移住・定住相談会における相談者総数	13件	25件
空き家バンクの物件登録件数	各年度末現在の空き家バンク登録件数	10件	15件
施策2 子どもたちの未来を創るあいおいの教育			
英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生	各年度の英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の生徒数	60.4%	60%
施策3 地域の子育て応援			
HP閲覧者数	各年度の相生市ホームページの閲覧者総数	502,525件	550,000件

戦略目標			
施策名			
基本目標・KPI（重要業績評価指標）	説明	令和元年度（基準値）	令和7年度（目標値）

戦略目標3 働く人の希望が叶うまち相生			
市内事業所従業者数	各年度6月1日現在の市内事業所の従業者総数	12,063人	12,000人
施策1 魅力ある産業づくり			
新規創業者数	各年度の相生市内において各種支援策を受けて新規創業した者の数	13件 (累計)	15件 (累計)
支援策を受けて就職した人数	各年度の相生市在住者の各種支援策を受けて就職した者の数	2人 (累計)	25人 (累計)
施策2 農水産業の活性化			
新規就農者数	各年度の新規就農者数	10人 (累計)	10人 (累計)
6次産業化商品件数	各年度における、6次産業化商品数	5品 (累計)	5品 (累計)
施策3 地域資源を活用した観光振興			
観光客数	各年度の観光客数	606,867人	690,000人
市内宿泊施設利用者数	各年度の市内宿泊施設での宿泊者数	123,790人	128,000人

戦略目標4 安全・安心で住み続けられるまち相生			
相生市に住み続けたいと思う人の割合	市民アンケートにおける、「相生市に住み続けたいと思う」と回答した人の割合	70.0%	71%
施策1 安全・安心に暮らせるまちづくり			
刑法犯認知件数	各年度における、相生市警察署管内の刑法犯罪の認知件数	106件	75件
災害に対する備えは十分であると思う人の割合	市民アンケートにおける、「災害に対する備えは十分であると思う」と回答した人の割合	40.0%	43%
施策2 健康長寿なまちづくり			
健康づくりと予防対策が充実していると思う人の割合	市民アンケートにおける、「健康づくりと予防対策が充実していると思う」と回答した人の割合	44.2%	47%
施策3 多様な主体による連携・協働のまちづくり			
協働によるまちづくりが進んでいると思う人の割合	市民アンケートにおける、「協働によるまちづくりが進んでいると思う」と回答した人の割合	19.1%	24%

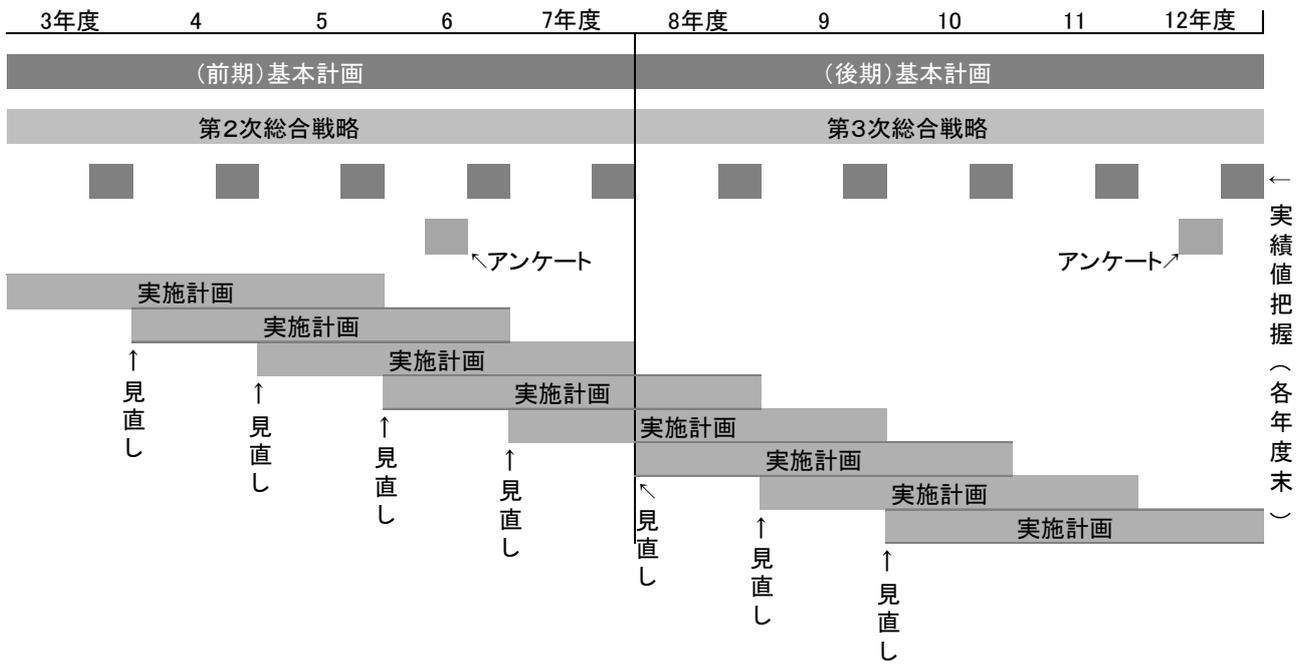
※ 戦略目標4 「相生市に住み続けたいと思う人の割合」、施策1「災害に対する備えは十分であると思う人の割合」、施策2「健康づくりと予防対策が充実していると思う人の割合」、施策3「協働によるまちづくりが進んでいると思う人の割合」は令和2年度を基準年とする。

(3) 総合計画とSDGsの関係

	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 全人類の健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう
第1章 未来を担う人と文化を育むまち																	
第1節 輝く子どもを育む街づくり																	
基本施策 1-1-1 学びの環境の充実	●			●													
基本施策 1-1-2 知・徳・体の調和のとれた人材の育成		●		●	●					●							
第2節 誰もが楽しく学べるまちづくり																	
基本施策 1-2-1 社会教育環境の充実				●	●					●	●					●	
第2章 安心して暮らせる、強くしなやかなまち																	
第1節 安全で安心なまちづくり																	
基本施策 2-1-1 安心して暮らせるまちづくりの推進			●								●					●	
基本施策 2-1-2 防災力の充実			●								●		●				
第3章 健やかな暮らしを守り支え合うまち																	
第1節 お互いに支え合う福祉のまつづくり																	
基本施策 3-1-1 地域福祉活動の充実	●	●									●						
第2節 障害のある人が安心して暮らせるまちづくり																	
基本施策 3-2-1 地域生活支援の充実								●		●	●						
第3節 子育てしやすいまちづくり																	
基本施策 3-3-1 子育て環境の充実	●		●	●							●						
基本施策 3-3-2 子どもの健やかな発育の支援	●		●	●													
第4節 健康に暮らせるまちづくり																	
基本施策 3-4-1 地域医療の充実			●	●													
基本施策 3-4-2 健康づくりと予防対策の推進		●	●														
第5節 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり																	
基本施策 3-5-1 日常生活支援の充実				●													
基本施策 3-5-2 地域包括ケアの推進				●													
第4章 心地よい生活環境が保たれたまち																	
第1節 安定した市民生活が送れるまちづくり																	
基本施策 4-1-1 安定した社会医療制度の推進			●							●							
第2節 活気のあるまちづくり																	
基本施策 4-2-1 安心して生活できる環境の整備											●						
基本施策 4-2-2 市民の協働によるまちづくりの推進					●	●					●					●	
基本施策 4-2-3 まちのにぎわいの創出					●			●				●					
基本施策 4-2-4 地域資源を活かした観光の振興								●			●	●					
第3節 豊かな自然環境の保全																	
基本施策 4-3-1 豊かな自然環境の保全			●			●					●		●	●			
基本施策 4-3-2 環境衛生の保持						●					●	●					
第5章 暮らしを支える都市機能の整ったまち																	
第1節 快適に暮らせるまちづくり																	
基本施策 5-1-1 快適な都市機能の維持						●											
基本施策 5-1-2 安心な住環境の保全											●						
基本施策 5-1-3 港湾と河川の保全			●			●					●			●			
第2節 地域生産力の向上を目指すまちづくり																	
基本施策 5-2-1 農林水産業の持続的発展		●				●		●	●		●		●	●			
第6章 まちづくりを進める土台を固める																	
第1節 安定した持続可能な行政経営																	
基本施策 6-1-1 定住の促進と関係人口の拡大				●													
基本施策 6-1-2 社会の変化に対応する組織と体制の充実															●	●	
基本施策 6-1-3 安定した行政経営基盤の確立										●	●				●	●	

●：総合計画と関連のあるSDGsの項目

(4) 進行管理スケジュール



(5) 用語集

【あ行】

■ICT

Information and Communication Technology の略。情報通信技術を表し、日本では同義語として IT が使われている。IT にコミュニケーションの要素を加えたもの。

■IT

Information Technology の略。コンピューターやインターネットを支える機械類やソフトウェアの技術などのこと。

■医療圏域

都道府県が病床の整備を図るに当たり、設定する地域的単位。

■インバウンド

外国人が訪れてくる旅行のこと。

■AI

Artificial Intelligence の略。人間にしかできなかったような高度で知的な作業や判断を人工的なシステムにより行えるようにしたもの。

■SDGs

Sustainable Development Goals の略。2015年9月に国連サミットで採択された「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030（令和12）年を年限とする17の国際目標。

■NPO

Non-Profit-Organization の略。法人格をもった営利を目的とせず、公益的な市民活動を行う民間団体の総称。

■温室効果ガス

二酸化炭素（CO₂）やメタン（CH₄）など、太陽からの熱を通過させるが、地表から放射される熱を吸収して、熱を地球に封じ込める性質の大気中のガスのこと。

【か行】

■かかりつけ医

家族なども含めて普段の健康管理や健康について気軽に相談できる、身近な診療所や医院の医師のこと。

■関係人口

住民基本台帳に登録はされていないが相生市と何らかの関わりがある人の数。以前住んでいた、ふるさと納税制度を通じて寄付をしたなど、さまざまな形でその地域とのつながりをもつ人の総数。

■幹線道路

都市において道路網を形成し、主要な地点を結ぶ根幹をなす道路。

■教育振興基本計画

教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育行政・教育活動の基本的な方針、その他必要な事項を定める計画。

■行政評価

行政の活動を有効性、効率性、必要性、公平性などの観点から客観的に評価し、その評価結果を行政運営に反映させるための手法。

■グループホーム

日常生活に支援を要する人が、専門職員による援助を受けながら、少人数で共同生活する施設。

■ KPI（重要業績評価指標）

Key Performance Indicator の略。目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のこと。

■ 合計特殊出生率

15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が生涯に産むとしたときの子供の数に相当するもの。

■ 交流人口

通勤・通学者や観光客など、その地域を訪れる人の数。

■ コミュニティ

地域社会、共同体、共同生活体という意味。快適で安全な生活環境のもとで、健康で文化的な生活を営むための近隣社会や近隣生活をいう。

【さ行】

■ 集落営農組織

集落を単位として、農業生産過程における全部または一部についての共同化・統一化に関する合意のもとに実施される生産活動を行う組織のこと。

■ 食育

様々な経験を通じて食に関する知識やバランスの良い食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる力を育むこと。

■ 水源かん養

森林の土壌が、降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させる機能。

■ 生活習慣病

食、運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が、その発症・進行に關与する疾患群の総称。

■ 成年後見制度

判断能力の不十分な方々を保護し、支援する制度。

■ Society5.0

仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する我が国が目指すべき未来社会の姿。

【た行】

■ 多文化共生

国籍や民族などの異なる人々が、お互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら地域社会の構成員としてともに生きていくこと。

■ 地域共生社会

社会や生活の変化をふまえ、制度や分野を問わず、地域住民や地域の多様な主体が地域とともに創っていく社会のこと。

■ 地域包括ケアシステム

重度な要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステム。

■ 地球温暖化

大気中の二酸化炭素など温室効果ガスの濃度が上がり、熱が放出されない状態になり、気温が長期的に見て上昇すること。

■ 地産地消

地域で生産された農作物や水産物をその地域で消費すること。

■ 定住人口

その地域に住んでいる人の数。

■電子自治体

ITの活用により、業務の効率化を行ったり、住民の満足度の向上など行政サービスの利便性を高める地方自治体のこと。

■都市計画マスタープラン

都市づくりの具体性ある将来ビジョンを確立し、個別具体の都市計画の指針として地区別の将来のあるべき姿をより具体的に明示し、地域における都市づくりの課題とこれに対応した整備などの方針を明らかにした、都市計画の基本的な方針を示すもの。

■トライやる・ウィーク

中学校2年生が一週間学校を離れて、地域や自然の中で主体的にさまざまな体験をすることにより、「共に生きる力」や「感謝の心」を育み、自律性を高めるなど、「生きる力」を育成すること。

【な行】

■2次医療

特殊な医療を除く、入院治療を主体とした医療需要に対応する医療。

【は行】

■ホームヘルプサービス

訪問介護。日常生活に支障のある高齢者や障害のある人、及びその家族がサービスを必要とする場合に、家事的援助、身体介護などのサービスを行うこと。

【ま行】

■みなとオアシス

歴史や文化など、魅力的な「みなと」の元来有する資源を人々が訪れやすいものとするために休憩スペース、トイレ及び駐車場を活用してサービスを提供できるみなとの施設や地区のこと。

■めざそう値

各基本施策の達成度を計る指標。本計画においては、市民アンケートにおけるまちづくりに対する市民の満足度（回答に占める「そう思う」「ややそう思う」の割合）を基に目標値を設定。

【や行】

■U・I・Jターン

Uターンは出身地に戻る、Iターンは出身地以外の地方へ移住する、Jターンは出身地の近くの地方都市に移住する形態を指す。大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称。

【ら行】

■ライフスタイル

衣食住などの生活様式だけでなく、職業、社会との関わり方、趣味や生活に対する考え方や習慣までを含む広義の暮らし方、生き方のこと。

■ライフステージ

人の一生を幼児期、青年期、中年期、老年期に分けた、人生のそれぞれの段階のこと。

■レクリエーションスポーツ

子どもから高齢者まで、生涯を通じて誰もが楽しんでできるスポーツ。

■レセプト

患者が受けた診療について、医療機関が保険者に月単位で請求する請求書のこと。診療報酬請求明細書など。

■連携中枢都市圏

地域において、相当の規模と中核性を備える圏域において市町村が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、人口減少、少子高齢化においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成すること。播磨圏域は中心市である姫路市を含めた8市8町により構成されている。

【わ行】

■ワーク・ライフ・バランス

一人ひとりが、やりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。

第6次相生市総合計画
～いのち輝き 絆ひろがる あいのまち～

発行／令和3年3月
発行者／兵庫県相生市
〒678-8585 兵庫県相生市旭一丁目1番3号
編集／相生市企画総務部企画広報課企画係



相生市